

英語の決めゼリフ！

1. 最初の挨拶

発表前の最初の出だしが、案外重要！

座長（私か高橋先生）から、以下のように紹介します。（おそらく）

I would like to introduce the first speaker, undergraduate senior student, Kenich Aota.

The title of his presentation is “がおがおがおー”

最初のスピーカを紹介いたします。4年生の青田健一君です。タイトルは“がおがおがおー”です。

そしたら、以下のように口走りましょう！

- **Thank you for such an opportunity to talk about my graduation thesis, today.**

今日は、私の卒業論文について話す機会を与えて頂きありがとうございます。

- **Today, I would like to talk about the tile “-----”**

本日、私はこのようなタイトル“-----”で発表させていただきます。

そしたら、その後、自由にしゃべりまくってください。

*始めて良いか分からなかった場合

- **May I begin now?**

2. 最後の挨拶

- **That’s all for my presentation**

これで私の発表は終わりです。

- **Thank you for your attention.**

ご静聴ありがとうございます。

3. 質問の仕方

最後の挨拶の後、座長（私か高橋先生）から、以下の終了宣言と質疑応答を問います。

Thank you very much for your presentation. Are there any questions or comments?

有り難うございます。何か質問や、コメントありますか？

と聞くので、必ず手を挙げてから、以下の言葉を口走りましょう！

- **May I ask your a question?**

質問よろしいでしょうか？

4. 言い訳

質問されたときの、言い訳。誤魔化すには、取りあえず、分からなくても取りあえず、以下の相づちをうって置く。会話中で最も、よく使われる表現。

- **I see...**

なるほど.....

- **Absolutely!**

その通りです。

- **Definitely!**

確かに

- **Precisely!**

正確だ



5. 質問を聞き返すとき

英語がよく分からないときは、一度だけ、以下の呪文を唱えることが出来る。

- **Sorry. Could you say that (it) again?**

ごめんなさい。もう一度言っていただけますか？

- **Sorry. I am not sure if I understand your question**

ごめんなさい。あなたの質問を理解できているかどうか確信がもてません。

6. プレゼンテーション

構成は以下のようにするのが一般的。

1. TILTE

表紙には、タイトルと名前、所属を必ず記載。

- **Hello, everyone, My name is GOTI SOU. I am a seiner undergraduate student in Takahashi laboratory.**

こんにちは、皆さん、私の名前は、五智 槽です。私は、高橋研究室所属の学部四年生です。

- **Today, I would like to talk about the title like this.**

本日は、このようなタイトルでお話いたします。



2. OUTLINE

目次のような感じで、どういった順番で発表するかを説明する。

- **First, I would like to introduce why I have been studying this superconducting materials. Next, I explain the equipments which I used and show my experimental results. Finally, I conclude my results.**

最初に、私は、なぜこの超伝導物質を研究したかについて紹介して、次に、私が使用した装置の説明をおこない、その実験結果を示します。最後に、私の実験結果をまとめる。

3. INTRODUCTION/BACKGROUND

どういった背景で、この研究を行ったかを明確にする。ここで、ある程度聴衆に知識を与えておいて、自分の研究目的のすばらしさ、着目点の良さを理解して貰う。

→主なポイント

結論に繋がる予備知識をあたえる。

4. EXPERIMENTAL

どのような実験装置で、どのような手法を使ったか？原理などもここで述べても良い。

5. RESULTS/ANALYSIS

実験結果とその解析結果を話す。ここでの勝負は、どれだけ、きれいな実験データを見せられるかで決まる。

→主なポイント

細かい実験データはいらない。ポイントとなる数字は必ず見せる。

グラフは的確に、きれいに記載。サンプル名、測定条件は必須。

1つのスライドに1つ以上の結論を入れる。

6. DISCUSSION

このセッションは非常に重要。かならず、目的にあった議論を話さないと突っ込まれる原因になる。

7. SUMMARY

最後のまとめ。ここで、時間調整を行う。もし、時間がなければ、最後以下のようなスライドを見せながら、喋ると時間節約にもなる上、その時点で一気に終了まで持ち込める。

- **This is my summary.**

これが、わたしの結論です。

→**主なポイント**

ここでは、箇条書きが必須。

今までの話が、瞬時に分かるようにする。複雑な文章は御法度！

